

新型コロナ治療の中医学的アプローチ

2020年4月

twitter 「china tips by myokoi」 主持人 横井正紀
myokoi6212@gmail.com

本資料は、2020年3月4日に中国当局から発布された「新型コロナウイルス肺炎診療ガイドライン（試行第7版）」の中から、中医学による治療部分を抜粋して翻訳したものである。一部理解を深めるための簡約を行った部分がある（※部分）。臨床症状などが詳しく書かれており、健康異常を認知する基点になるのではと考えた。ご参考になれば幸いである。

中華人民共和国国家卫生健康委員会弁公庁 中国国家中医薬管理局弁公室発行
新型コロナウイルス肺炎診療ガイドライン（試行第7版）の「中医学による治療」から

新型コロナウイルス肺炎は、中医学の「疫」の病の範疇に属し、病因は「疫戾」の気を感じることである（※伝染性の強い病邪を受けること）。各地では病状、気候の特徴、患者の体質の違いにより以下のガイドラインを参考に、弁証論治（※診断と証の分類）を行うことができる。中国薬典記載用量を超えるものについては、医師の指導下で使用するものとする。

1. 医学観察期

臨床症状：胃腸の不調を伴う倦怠感
推薦される中医薬剤：蓄香生気カプセル（丸剤、水剤、内服液）

臨床症状：発熱を伴う倦怠感
推薦される中医薬剤：金花清感顆粒、連花清瘟カプセル（顆粒）、疏風解毒カプセル（顆粒）

2. 臨床治療期（確定症例）

2.1 清肺排毒湯

適用される患者の範囲：

各地域の医師の臨床観察と結合し、軽症、中程度症状、重症の患者に適用する。危篤患者の治療については、実際の状況を鑑み合理的に使用する。

基礎方剤：

麻黄 9g、炙甘草 6g、杏仁 9g、生石膏 15～30g（先煎）、桂枝 9g、泽泻 9g、猪苓 9g、白术 9g、茯苓 15g、柴胡 16g、黄芩 6g、姜半夏 9g、生姜 9g、紫菀 9g、冬花 9g、射干 9g、细辛 6g、山药 12g、枳实 6g、陈皮 6g、着香 9g

服用法：

生薬を水で煎じ、1日1剤を朝夕（食後40分）各1回に分け温服する。3日間を1サイクルとする。条件があれば、毎回服用後に米粥を茶碗半分飲む。舌が乾き、津液が不足している患者は、茶碗1杯飲む（発熱のない患者については、生石膏の用量を減らし、発熱や高熱の場合には用量を増やす）。症状が改善したが完治していない患者については2サイクル目を服用する。患者に特殊な事情が基礎疾患がある場合は、実際の状況に応じて2サイクル目の処方内容を調整し、症状が消失すれば服用を中止する。

処方出典：

国家衛生健康委弁公庁国家中医薬管理局弁公室「中西医結合新型コロナウイルス肺炎治療における清肺排毒湯使用推薦についての通知」（国中医薬弁医政函[2020]22号）。

2.2 軽症

1) 寒湿鬱肺証

臨床症状: 発熱、倦怠感、全身筋肉痛、咳嗽、咯痰、胸が苦しく息がし難い、食用不振、消化不良、動悸、嘔吐、便が粘り排便不快。舌質は淡、腫大、歯痕がり、色はピンク。舌苔は白厚腐膩または白膩。脈は濡または滑。

推薦処方:

生麻黄 6g、生石膏 15g、杏仁 9g、羌活 15g、草蘭子 15g、贯众 9g、地龙 15g、徐长卿 15g、藿香 15g、佩兰 9g、苍术 15g、云苓 45g、生白朮 30g、焦三仙各 9g、厚朴 15g、焦槟榔 9g、煨草果 9g、生姜 15g。

服用法:

1日1劑、600mlの水で煎じ、朝昼夕3回に分けて食前に服用する。

2) 湿熱蘊肺証

臨床症状:

微熱あるいは平熱、微悪寒、倦怠感、頭重、身体が重い、筋肉痛、痰が少ない乾いた咳、咽頭痛、口が乾いても水分を欲しない、胸が苦しく詰まる感じ、汗が出づらい、動悸、食欲不振、便が緩い、便に粘りがあり排便不快。舌はピンク。舌苔は白厚膩または黄膩。脈は滑数または濡。

推薦処方:

槟榔 10g、草果 10g、厚朴 10g、知母 10g、黄芩 10g、柴胡 10g、赤芍 10g、连翹 15g、青蒿 10g（後下）、苍术 10g、大青叶 10g、生甘草 5g。

服用法:

1日1劑、400mlの水で煎じ、朝夕2回に分けて服用する。

2.3 中等症（中級症状）

1) 湿毒鬱肺

臨床症状:

発熱、痰が少ない乾いた咳、時に黄色い痰、息苦しく呼吸が荒い、腹部満腹感、便秘、排便困難な傾向。舌は暗赤色、腫大、舌苔は黄膩または黄燥。脈は滑数脈あるいは弦濡。

推薦処方:

生麻黄 6g、苦杏仁 15g、生石膏 30g、生蕙茂仁 30g、茅苍术 10g、广藿香 15g、青蒿草 12g、虎杖 20g、马鞭草 30g、干芦根 30g、草蘭子 15g、化橘紅 15g、生甘草 10g。

服用法:

1日1劑、400mlの水で煎じ、朝夕2回に分けて服用する。

2) 寒湿阻肺症

臨床症状:

微熱、熱の感じがするが体表部には表れないか発熱しない、痰が少ない乾いた咳、

倦怠感、胸苦しい、胃膨満感、または動悸嘔吐、下痢。舌質は淡またはピンク、舌苔は白または白膩。脈は濡。

推薦処方:

蒼朮 15g、陈皮 10g、厚朴 10g、藿香 10g、草果 6g、生麻黄 6g、羌活 10g、生姜 10g、檳榔 10g。

服用法:

1日1剤、400mlの水で煎じ、朝夕2回に分けて服用する。

2.4 重症

1) 疫毒閉肺証

臨床症状:

発熱して顔が赤い、咳、痰は少ないが黄色く粘る、痰に血が混ざる、呼吸が苦しく喘ぐ、疲労倦怠感、口が乾き苦く粘る、動悸、食べられない、排便困難傾向、尿量は少なく色は深い黄色か赤みを帯びている。舌は赤、苔は黄膩。脈は滑数。

推薦処方: 化湿敗毒方

基礎方剤:

生麻黄 6g、杏仁 9g、生石膏 15g、甘草 3g、着香 10g (后下)、厚朴 10g、蒼朮 15g、草果 10g、法半夏 9g、茯苓 15g、生大黃 5g (后下)、生黄芷 10g、葶子 10g、赤芍 10g

服用法:

1日1~2剤を水で煎じ、100~200ml/回を1日2~4回服用または経鼻投与する。

2) 気營両燔証

臨床症状:

高熱で激しい口の渇き、呼吸が苦しく喘ぐ、意識が混濁しつぶやく、物が見えにくい、時に発疹、吐血、鼻血、痙攣などがみられることがある。舌は深紅、舌苔は少ないか無苔。脈は沈細数あるいは浮大かつ数。

推薦処方:

生石膏 30~60g (先煎)、知母 30g、生地 30~60g、水牛角 30g (先煎)、赤芍 30g、玄参 30g、连翘 15g、丹皮 15g、黄连 6g、竹叶 12g、草房子 15g、生甘草 6g。

服用法:

1日1剤、水で煎じる。先に石膏と水牛角を煎じ、後に残りの生薬を入れる。100~200ml/回を1日2~4回服用または経鼻投与する。

推薦される中薬製剤:

喜炎平注射液、血必淨注射液、熱毒寧注射液、痰熱清注射液、醒腦靜注射液。効能が近い中薬製剤であれば患者の状況に合わせて1種類を選択。臨床症状によっては2種類を併用してもよい。中薬注射液と生薬の湯液は合わせて使用できる。

2.5 重篤

1) 内閉外脱証

臨床症状:

呼吸困難、動くと息が上がるまたは換気療法が必要、せん妄、不安、興奮、汗が出

て四肢が冷える、舌は紫暗、舌苔は厚膩または燥。脈は浮大で無根。

推薦処方:

人參 15g、黒順片 10g (先煎)、山茱萸 15g、上記にせんじた湯液で中薬の蘇合香丸または安宮牛黄丸を一緒に服用する。

換気療法実施時に腹部膨満、便秘などを伴う場合は、生大黄色 5 ~ 10g を使用できる。患者と人工呼吸器に非同調が発生して鎮静薬、筋弛緩薬を使用している場合には、生大黄色 5 ~ 10g、芒硝 5 ~ 10g を使用できる。

推薦される中薬製剤:

血必浄注射液、熱毒寧注射液、痰熱清注射液、醒腦静注射液、參附注射液、生脉注射液、參麦注射液。効能が近い中薬製剤であれば患者の状況に合わせて 1 種類を選択。臨床症状によっては 2 種類を併用してもよい。中薬注射液と生薬の湯液は合わせて使用できる。

注意) 重症と重篤症例での推薦される中薬注射剤の用法

中薬注射剤の使用は、薬品説明書に従って少量から開始し、段階的に調整することを原則とする。推薦する用法を下記に記す。

ウイルス感染または軽度の細菌感染合併の場合

0.9%塩化ナトリウム注射液 250ml + 喜炎平注射液 100mg bid、または 0.9%塩化ナトリウム注射液 250ml + 熱毒寧注射液 20ml、または 0.9% 塩化ナトリウム注射液 250ml + 加痰熱清注射液 40ml bid。

高熱で意識障害を伴う場合:

0.9%塩化ナトリウム注射液 250ml + 痰熱清注射液 40ml bid

全身性炎症反応症候群および多臓器機能不全の場合:

0.9%塩化ナトリウム注射液 250ml + 血必浄注射液 100ml bid

免疫抑制の場合

ブドウ糖注射液 250ml + 參麦注射液 100ml または生脉注射液 20~60ml bid

2.6 回復期

1) 肺脾気虚証

臨床症状:

息が短く、疲労倦怠感、食欲不振、動悸、嘔吐、胸腹部のつかえ、排便に力が入らない、便が緩く排便不快、舌は淡、腫大、舌後家は白膩。

推薦処方

法半夏 9g、陈皮 10g、党参 15g、炙黄茂 30g、炒白朮 10g、茯苓 15g、藿香 10g、砂仁 6g (后下)、甘草 6g。

服用法:

1日1剤、400mlの水で煎じ、朝夕2回に分けて服用する。

2) 気陰両虚証

臨床症状

疲労、息切れ、口の乾燥や渴き、動悸、多汗、微熱または平熱、痰の少ない咳。舌は乾燥して水分が乏しく、脈は細または虚、無力である。

推薦処方:

南北沙参各 10g、麦冬 15g、西洋参 6g、五味子 6g、生石膏 15g、淡竹叶 10g、桑叶 10g、芦根 15g、丹参 15g、生甘草 6g。

服用法:

1日1剤、400mlの水で煎じ、朝夕2回に分けて服用する。

以上